

第7回 日本免疫治療学研究会 (JRAI) 学術集会



免疫療法の 標準化と 今後の可能性

日時

2010年2月20日(土)
9:30~18:00

会場

東京ガーデンパレス
東京都文京区湯島1-7-5 TEL 03-3813-6211

会長

木村 秀樹
(千葉県がんセンター 副センター長)

シンポジウム

「免疫療法の効果判定」

教育講演

教育講演1

「がん免疫療法の標準化を目指して」

中面 哲也 (国立がんセンター東病院臨床開発センターがん治療開発部機能再生室)

教育講演2

「肝癌/肝炎に対する免疫細胞療法の可能性」

大段 秀樹 (広島大学大学院先進医療開発科学講座外科学)

教育講演3

「新時代の抗体療法」

石田 高司 (名古屋市立大学大学院医学研究科腫瘍・免疫内科学)

ワークショップ

「免疫細胞療法の可能性」

特別講演

「自然免疫による病原体認識」

審良 静男 (大阪大学WPI免疫学フロンティア研究センター)

共催：日本免疫治療学研究会／株式会社メディネット
参加費：【会員】7,000円【一般】9,000円【コメディカル】4,000円【学生】2,000円
(全て懇親会参加費を含む)
事務局：第7回日本免疫治療学研究会 (JRAI) 学術集会事務局
〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-5-14 白井ビル9F
TEL：045-478-0222 FAX：045-478-0083
E-mail：7thjrai@jrai.gr.jp
URL：http://www.jrai.gr.jp/7thjrai

会場アクセス



会場アクセス／●JR中央線「御茶ノ水駅」下車、「聖橋口」より徒歩5分 ●東京メトロ千代田線「新御茶ノ水駅」下車、徒歩5分 ●東京メトロ丸の内線「御茶ノ水駅」下車、徒歩5分

開 会 挨拶

9:30~9:40

【会長】 木村 秀樹(千葉県がんセンター)

シンポジウム

9:40~11:50

免疫療法の効果判定

【司会】 河上 裕(慶應義塾大学医学部先端医科学研究所細胞情報研究部門)
安元 公正(産業医科大学第二外科)

【演者】 田中 文明(九州大学病院別府先進医療センター)
「樹状細胞と癌抗原を用いた進行癌に対する癌ワクチン治療~これまでとこれから~」
裕 彰一(山口大学大学院 消化器・腫瘍外科学)
「消化器癌に対する免疫療法の標準化と今後の展望」
後藤 重則(瀬田クリニック東京)
「免疫細胞療法における、症例対照研究による生存分析の試み
および各治療法別の免疫学的評価の提言」
小林 博人(東京女子医科大学医学部泌尿器科)
「 $\gamma\delta$ 型T細胞を用いた免疫療法におけるPOCと臨床効果」

総合討論 ※会長・司会・演者の先生方による総合討論を行います。

教育講演 1

13:20~14:00

【司会】 鳥越 俊彦(札幌医科大学大学院分子免疫制御学)
【講師】 中面 哲也(国立がんセンター東病院臨床開発センターがん治療開発部機能再生室)
「がん免疫療法の標準化を目指して」

教育講演 2

14:00~14:40

【司会】 江里口 正純(財団法人結核予防会新山手病院)
【講師】 大段 秀樹(広島大学大学院先進医療開発科学講座外科学)
「肝癌/肝炎に対する免疫細胞療法の可能性」

教育講演 3

15:10~15:50

【司会】 中山 睿一(岡山大学医歯薬学総合研究科免疫学)
【講師】 石田 高司(名古屋市立大学大学院医学研究科腫瘍・免疫内科学)
「新時代の抗体療法」

ワークショップ

15:50~16:50

免疫細胞療法の可能性

【司会】 杉山 保幸(帝京大学医学部附属溝口病院外科)
【演者】 西田 英司(金沢大学大学院医学系研究科先進運動器医療創成講座)
「液体窒素処理腫瘍組織移植後の免疫活性と樹状細胞療法の可能性」
岡田 直貴(大阪大学大学院薬学研究科薬剤学)
「腫瘍血管を標的とする細胞傷害性T細胞の創製と養子免疫療法への応用」
清野 研一郎(聖マリアンナ医科大学難病治療研究センター)
「多能性幹細胞を利用した新しい免疫制御の可能性」

特別講演

17:00~18:00

【司会】 木村 秀樹(千葉県がんセンター)
【講師】 審良 静男(大阪大学WPI免疫学フロンティア研究センター)
「自然免疫による病原体認識」

懇 親 会

18:00~